



株主の皆様へ

2014年度(第149期)
中間報告書

2014年4月1日から2014年9月30日まで
証券コード:5333



株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループの第149期第2四半期連結累計期間(2014年4月1日から2014年9月30日まで)の事業概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が見られたものの、底堅く推移しました。海外では、米国など先進国を中心に緩やかな回復基調が続きました。

このような状況のもと、当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)におきましては、セラミックス事業において、欧州市場のディーゼルエンジン乗用車や国内・米国市場のトラック販売が好調であったこと等から、自動車関連製品の需要が増加いたしました。エレクトロニクス事業でも、モバイル製品の需要拡大を背景に半導体製造装置用セラミックス製品の需要が増加いたしました。電力関連事業は、がいしの需要が横這いだったものの、NAS[®]電池で火災事故後、初の国内受注案件を出荷いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、セラミックス事業とエレクトロニクス事業の増収により、前年同期比18.5%増の1,680億13百万円となりました。

利益面でも、セラミックス事業で主力の自動車関連製品の売上高が増加したこと等により、営業利益は前年同期比46.3%増の287億64百万円、経常利益は同37.2%増の268億74百万円、四半期純利益は同59.1%増の200億97百万円となりました。当期の中間配当金につきましては、当期の業績及び今後の業績見通しを総合的に勘案し、1株あたり13円とさせていただきます。

今後の経済動向につきましては、欧州の景気減速、新興国の成長鈍化等、先行きに懸念はあるものの、足元では、日本や米国などで回復基調が続いています。当社グループでは、各国の排ガス規制強化に伴い自動車関連製品の需要拡大を見込んでおり、現時点での連結通期業績見通しにつきましては、売上高は前期比13.4%増の3,500億円となる見通しです。利益面でも、増収や為替影響により、営業利益は、26.5%増の560億円、経常利益は26.6%増の580億円、当期純利益は44.2%増の390億円となる見通しです。

このような状況のもと、当社グループの収益と成長を牽引するセラミックス事業の自動車関連製品においては、需要拡大に対応したグローバルに効率的な生産体制を着実に構築し、高付加価値製品の市場投入やさらなる原価低減を進め、収益性向上に努めております。

一方、苦戦の続く電力関連事業のがいしでは、事業再構築によるスリム化とコストダウンにより持続的に収益を生み出せる体質への転換を図っております。NAS®電池については、安全性を最優先し、継続的な受注獲得と設計・製造コストダウンの推進により収益性の確保に努めております。

エレクトロニクス事業では、半導体製造装置用セラミックス製品において製品の高性能化と革新的な製法の確立により競争力の強化を進めております。一方、電子部品については既存製品に代わる新製品の創出やM&Aによる新規事業の取り込みなどにより、事業成長を図ってまいります。

当社グループは「新・ものづくり構造革新」を全社で推進し、中長期的視点でグローバルな競争を勝ち抜けるコスト競争力と技術先進性の構築を目指してまいります。さらには、売上高に占める新製品の比率を2017年度に30%まで引き上げる「2017 Challenge 30」を全社目標に掲げ、事業分門・研究開発部門が一体となり新製品・新事業の創出に取り組んでおります。セラミックス技術の先進性を活かし、次の成長を担う新規事業を早期に立ち上げを図ることで、持続的な成長と企業価値の向上を実現し、資本効率重視、株主重視の経営を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

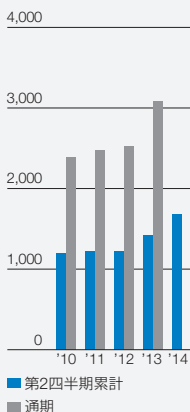
2014年12月

取締役社長

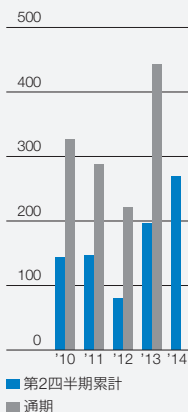
大島 卓

連結財務ハイライト

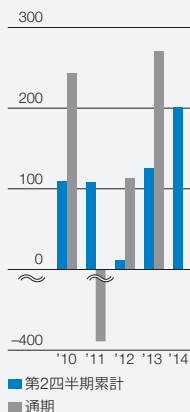
売上高(単位：億円)



経常利益(単位：億円)



四半期純利益・
当期純利益(単位：億円)

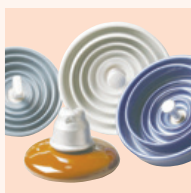


電力関連事業部門

当事業の売上高は、281億93百万円と前年同期に比べて5.2%増加しました。

がいしの需要が横這いだったものの、NAS®電池で火災事故後、初の国内受注案件を出荷しました。

営業損益は、15億93百万円の営業損失（前年同期は8億45百万円の営業損失）となりました。



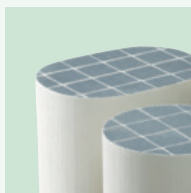
懸垂がいし

セラミックス事業部門

当事業の売上高は、1,066億5百万円と前年同期に比べて22.0%増加しました。

欧州市場のディーゼルエンジン乗用車や国内・米国市場のトラック販売が好調であったこと等により、自動車関連製品の需要が増加しました。

営業利益は、前年同期比42.7%増の276億57百万円となりました。



ディーゼル・パティキュレート・フィルタ（DPF）

エレクトロニクス事業部門

当事業の売上高は、332億77百万円と前年同期に比べて20.0%増加しました。

モバイル製品の需要拡大を背景に半導体製造装置用セラミックス製品の需要が増加しました。

営業利益は、前年同期比143.2%増の26億79百万円となりました。



半導体製造装置用セラミックス

四半期連結貸借対照表 (2014年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	379,338	流動負債	102,415
現金及び預金	63,847	支払手形及び買掛金	27,529
受取手形及び売掛金	69,944	短期借入金	4,564
有価証券	108,177	1年内償還予定の社債	20,000
たな卸資産	110,994	未払法人税等	1,785
その他	26,497	NAS電池安全対策引当金	8,532
貸倒引当金	△123	その他	40,003
固定資産	275,930	固定負債	178,019
有形固定資産	179,070	長期借入金	143,817
建物及び構築物(純額)	58,257	退職給付に係る負債	16,539
機械装置及び運搬具(純額)	83,179	その他	17,663
その他(純額)	37,634	負債合計	280,435
無形固定資産	4,442	純資産の部	
投資その他の資産	92,417	株主資本	347,456
投資有価証券	69,980	資本金	69,849
その他	22,590	資本剰余金	72,094
貸倒引当金	△152	利益剰余金	206,878
資産合計	655,269	自己株式	△1,366
		その他の包括利益累計額	15,932
		その他有価証券評価差額金	23,069
		繰延ヘッジ損益	14
		為替換算調整勘定	3,659
		退職給付に係る調整累計額	△10,811
		新株予約権	896
		少数株主持分	10,547
		純資産合計	374,833
		負債純資産合計	655,269

(百万円未満切捨)

四半期連結損益計算書 (2014年4月1日から2014年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	168,013
売上原価	109,869
売上総利益	58,143
販売費及び一般管理費	29,379
営業利益	28,764
営業外収益	2,330
営業外費用	4,219
経常利益	26,874
特別利益	906
特別損失	167
税金等調整前四半期純利益	27,613
法人税、住民税及び事業税	4,563
法人税等調整額	2,542
少数株主利益	409
四半期純利益	20,097

(百万円未満切捨)

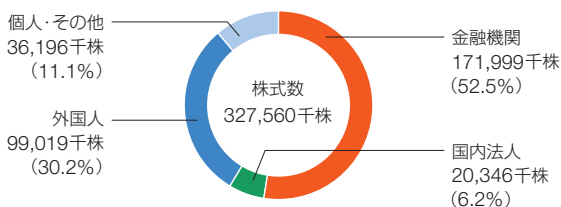
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	34,173	10.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	22,704	6.95
第一生命保険株式会社	21,457	6.57
明治安田生命保険相互会社	18,695	5.73
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	18,023	5.52
株式会社三菱東京UFJ銀行	10,292	3.15
メロンバンク エヌエー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	4,340	1.33
日本生命保険相互会社	4,313	1.32
全国共済農業協同組合連合会	4,309	1.32
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー	4,029	1.23

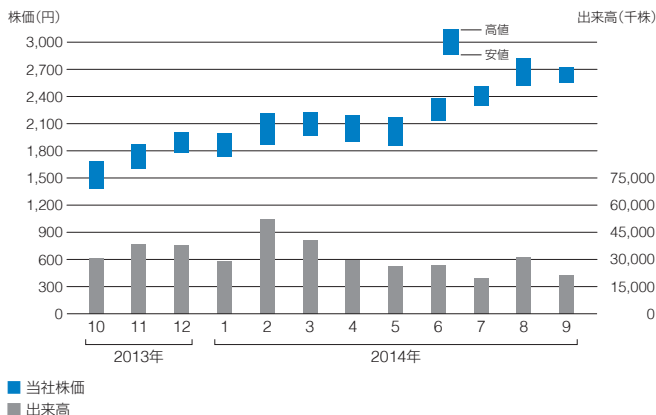
(注) 上記持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数(1,020,033株)を控除した株数を基準として算出し、小数点第3位以下を切り捨てとしております。

株式の情報

発行可能株式総数 735,030,000株
 発行済株式の総数 327,560,196株
 株主数 20,600名



株価の推移



会社概要

表記社名	日本ガイシ株式会社 NGK INSULATORS, LTD.		
商号	日本碍子株式会社		
代表者	代表取締役会長	浜本	英嗣
	代表取締役社長	大島	卓
	代表取締役専務	藤戸	宏
創立	1919年5月5日		
資本金	69,849百万円		

役員

*は代表取締役

* 取締役会長	浜本 英嗣	取締役	齋藤 英明
* 取締役社長	大島 卓	取締役	佐治 信光
* 取締役	藤戸 宏	取締役(社外)	蒲野 宏之
取締役	浜中 俊行	取締役(社外)	中村 利雄
取締役	武内 幸久	常勤監査役	水野 丈行
取締役	坂部 進	常勤監査役	福田 道雄
取締役	岩崎 良平	監査役(社外)	田中 節夫
取締役	蟹江 浩嗣	監査役(社外)	寺東 一郎

執行役員

*は取締役を兼務

* 社長	大島 卓	執行役員	高橋 伸夫
* 専務執行役員	藤戸 宏	執行役員	大口 幸泰
* 専務執行役員	浜中 俊行	執行役員	横井 公二
* 専務執行役員	武内 幸久	執行役員	山本 秀樹
* 常務執行役員	坂部 進	執行役員	倉知 寛
* 常務執行役員	岩崎 良平	執行役員	手嶌 孝弥
* 常務執行役員	蟹江 浩嗣	執行役員	松田 敦
* 常務執行役員	齋藤 英明	執行役員	美馬 敏之
常務執行役員	宝池 隆史	執行役員	丹羽 智明
常務執行役員	石川 修平	執行役員	酒井 均
* 執行役員	佐治 信光	執行役員	松田 弘人

株式メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

剰余金の配当基準日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関

同連絡先

〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711(通話料無料)

公告方法

電子公告により当社ホームページ(<http://www.ngk.co.jp/IR/kessan>)に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由により電子公告することができない場合は、日本経済新聞及び名古屋市中において発行する中日新聞に掲載いたします。

株式に関するお手続きについて

1 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先までお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none">・特別口座から一般口座への振替請求・単元未満株式の買取・買増請求・住所・氏名等のご変更・特別口座の残高照会・配当金の受領方法の指定*	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目 10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (平日9:00-17:00)
<ul style="list-style-type: none">・郵送物等の発送と返戻に関するご照会・支払期間経過後の配当金に関するご照会・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人 手続き用紙のご請求方法 <input type="checkbox"/> 音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-244-479 (通話料無料) <input type="checkbox"/> インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

*特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

2 証券会社等の口座に記録された株式

証券会社等の口座に記録された株式の各種お手続きにつきましては、一部を除き原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none">・郵送物等の発送と返戻に関するご照会・支払期間経過後の配当金に関するご照会・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目 10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (平日9:00-17:00)
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。



日本ガイシ株式会社

〒467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2番56号
TEL (052) 872-7176 E-mail: share-gr@ngk.co.jp

